



中高生を対象とする、地域で活躍するものづくり指導者養成講座が毎年開催されています。

ものづくりのリーダーをめざす!



道具の形状の意味を理解



帯鋸で治具を使って円形にカット



試作しながら危ない作業を確認

米子市児童文化センターで活動する「ものづくり道場」は毎月第3・4土曜日に小学生を対象にしたものづくり教室を開催しています。ものづくり道場は若い指導者を養成するために毎年ジュニアリーダー養成講習会を開催しています。今回の講習会に電気科の山岡直功君と村上仙君が参加し、修了証書を受け取りました。講習会では、まず講師の方々からものづくりの理論を学び、実際に作品をつくって作り方のポイントを学びます。次に小学生への指導を想定し、安全な指導、わかりやすい指導などを意識して演習を行います。最後に小学生を相手にした実地演習を行います。

山岡君と村上君は「小学生に教えることでコミュニケーション力が高まりました。」と学んだ成果を話してくれました。また、参加したことも楽しかったと笑顔で思い出しながらふり返っていました。ものづくり道場は毎月小学生が参加してものづくりを楽しんでいます。せっかく養成講習会を終了したのだから指導役で参加してみることを勧めると、「是非参加してみたいです。」と応えてくれました。彼らが指導した小学生たちが、ものづくりの面白さを感じ、また、あんなお兄さんみたいになりたいと工業高校を志望してくれると嬉しいですね。

さて、次回は誰が養成講習会に参加するのでしょうか。

校長 松川 明義



スマホの画面を3D表示



小学生を相手に実地演習



修了式

【行事予定】

13日(火)～16日(金)：中間考査

13日(火)：ハイパーQU(1・2年)、自転車点検

16日(金)：服装頭髪指導

